

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成 26 年 8 月 21 日 (2014.8.21)

【公表番号】特表 2013-533819 (P2013-533819A)

【公表日】平成 25 年 8 月 29 日 (2013.8.29)

【年通号数】公開・登録公報 2013-046

【出願番号】特願 2013-518749 (P2013-518749)

【国際特許分類】

B 3 2 B 27/08 (2006.01)

【F I】

B 3 2 B 27/08

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 7 月 1 日 (2014.7.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

組立品であって、

第 1 の熱膨張係数を有する第 1 のポリマーフィルム基材と

感圧接着剤層の第 1 の主表面と

の間に介在されたバリアフィルムを含み、前記感圧接着剤層が、第 2 の熱膨張係数を有する第 2 のポリマーフィルム基材上に配設されている前記第 1 の主表面に相対する第 2 の主表面を有し、

前記組立品が、可視光及び赤外光に対して透過性であり、並びに前記第 2 の熱膨張係数が、前記第 1 の熱膨張係数よりも 1 ケルビン当たり少なくとも 40 ppm 大きい、組立品。

【請求項 2】

組立品であって、

1 ケルビン当たり最大 50 ppm の熱膨張係数を有する第 1 のポリマーフィルム基材と

、

感圧接着剤層の第 1 の主表面と

の間に介在されたバリアフィルムを含み、前記感圧接着剤層が、第 2 のポリマーフィルム基材上に配設されている前記第 1 の主表面に相対する第 2 の主表面を有し、

前記組立品が、可視光及び赤外光に対して透過性であり、並びに前記第 2 のポリマーフィルム基材が、紫外光による劣化に対して抵抗性である、組立品。

【請求項 3】

前記感圧接着剤層が最大 3.4×10^8 Pa の引っ張り弾性率を有する、請求項 1 又は 2 に記載の組立品。

【請求項 4】

前記感圧接着剤が、アクリレート、シリコン、ポリイソブチレン、又はウレア感圧接着剤の少なくとも 1 つである、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の組立品。

【請求項 5】

前記第 2 のポリマーフィルム基材が、エチレン - テトラフルオロエチレンコポリマー、テトラフルオロエチレン - ヘキサフルオロプロピレンコポリマー、テトラフルオロエチレン - ヘキサフルオロプロピレン - ビニリデンフルオリドコポリマー、又はポリビニリデン

フルオリドの少なくとも 1 つを含み、前記第 1 のポリマーフィルム基材が、ポリエチレンテレフタレート、ポリエチレンナフタレート、ポリエーテルエーテルケトン、ポリアリー
ルエーテルケトン、ポリアリレート、ポリエーテルイミド、ポリアリールスルホン、ポリ
エーテルスルホン、ポリアミドイミド、又はポリイミドの少なくとも 1 つを含み、そのい
ずれかが所望により熱安定化されてもよい、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の組立品

。